

水が与える苦難

ディシヤ・アロラ (インド)

「水、生命の泉」。人気の映画「インターステラー」で、アン・ハサウェイが演じる主人公が、別の銀河で水をたたえる惑星に遭遇してつぶやいた言葉です。人類を絶滅から救う希望を胸に、彼女は仲間の宇宙飛行士や科学者と共に銀河を超える旅に出ます。もし水を見つけることができたなら、人類は生き残りのチャンスがあると信じて。

この映画の製作者たちは、何百万もの人々が毎日苦勞して水を手に入れていること、特にインドの虐げられたダリット (Dalit=いわゆる「不可触民 (アンタタッチャブル) 」で、ヒन्दゥー教社会におけるカースト外の被差別民) の女性たちのことなどは、考えてもいなかったでしょう。彼女たちにとっては「生命の水」が毎日の大きな苦難なのです。水は人間が生き残るのに役立つのはもちろんですが、人間らしく生きることに深く関わりがあるようです。

毎年6億人が水不足で苦しむインド (出典: [NITI Aayog 2019年](#)) は、カースト (ヒन्दゥー教の社会的分離制度) に基づいて社会が深く分断された国でもあります。インド憲法には「平等の権利」がうたわれているにもかかわらず、個人が社会的、経済的機会を得ようとする時は常にカーストが大きく関わってきます。カーストは3千年前につくられた制度ですが、今でもなお、人的資源や天然資源へより容易にアクセスできるかはカーストの階層によって決まっています。そして、虐げられたダリット (Dalit=いわゆる「不可触民 (アンタタッチャブル) 」で、ヒन्दゥー教社会におけるカースト外の被差別民) の女性たちにとっては、水が毎日の大きな苦難となっています。

インドでは、ジェンダーによって社会制度がすでに歪められている上に、カースト制度がインド人女性の社会・経済的地位に大きな影響を与え、ブラーミンの家父長制をベースにその傾向はさらに強まっています (ブラーミンはいわゆる「上位」のカースト階層)。この家父長制の思想は、ちょっとしたカースト主義や性差別だけでなく、医療、水、教育、法制度などへのアクセスの不平等、さらに、ダリット女性に対する残忍な殺害、レイプ、完全な人間性の否定にまで広く表れています。

水とカースト階級



ダリットの村の48.4%が水源の利用を拒否されている（国連人権高等弁務官事務所）

ダリット世帯の大半がインドの田舎に住んでいます。彼らの居住区は大抵、水源のある村の中心部から最も離れた場所です。彼らはいわゆる「不可触民」であるため、村の中心部に住むことは許されておらず、中心部は文化的に「上位」カーストの世帯用とされています。ダリットの世帯で敷地内に水源（必ずしも飲料に適しているとは限らない）があるのはわずか27%です。そのため、何万人ものダリット女性が早朝に起き、数キロも歩き、何時間も列に並んで家族のために水を確保しています。そして夕方にも同じ労働を繰り返します。容易に想像できますが、彼女たちは慢性的腰痛、関節痛、筋肉痛などに苦しんでいます。睡眠サイクルに与える影響も深刻です。しかし、大抵、彼女たちはこれらの健康問題の原因が何なのかさえ気づいていません。

この家父長制が定めるジェンダーの役割では、水汲みやその使用と節水は女性と少女の担当なのです。インドの田舎では水の入ったバケツを頭上にのせて運ぶ若い女の子たちをよく見かけますが、このことが、身長や体格の発達に影響することもあります。

そして今日でも、不可触民に対する差別行為は咎められることなく続いています。いわゆる「上位」カーストの女性や男性から「不純」と見なされ、公共の水源から水汲みしようとして暴力を受けたダリット女性の数は少なくありません。

水不足とダリット女性



インドは世界気候リスク指数（2019年）5位にランクされている

気候変動は自然災害の形で現れるだけではありません。現在のジェンダーに基づく不平等を拡大することにもなるでしょう。2019年にインド中央政府が発表した報告書には、降雨量の減少や地下水の枯渇により、インドの都市や町の17%が水不足に直面しているとまとめられています。気候変動による水不足の深刻化により、ダリット社会、特に女性の状況がさらに悪化すると予想されます。カーストとジェンダーにより、ダリット女性は気候変動による影響を受ける最も弱いグループになっています。例えば、ブンデルカンド地区（インド北部の干ばつが多い地域）で起こった水をめぐる暴動では、ダリットの女性が政府のハンドポンプを使ったというだけで殴打され、警察に訴状を提出しています。

ジェンダー問題とカースト解消の視点を

水は貴重な生活必需品であり、世界が気候変動への対応に苦慮するなかで、今後さらに貴重なものになるでしょう。このような状況を考えると、あらゆる問題が、社会から取り残された階層にさまざまな方面から影響を与えていることへの考慮が不可欠です。政府や国際機関が解決策を考える際には、ダリット女性のジェンダーやカーストに基づく経験を受けとめ、意思決定のあらゆるレベルで彼女たちの存在を忘れないことが大切です。